

招 集 期 日	平 成 2 8 年 1 月 2 1 日 （木）		開会の場所	村君公民館
開会の時刻	開会の時刻 午後 1 時 3 0 分		開 会 者	委 員 長
及び宣告者	閉会の時刻 午後 3 時 3 0 分		閉 会 者	委 員 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
岩 本 一 盛	出 席	柿 沼 拓 弥	出 席	
古 市 明	出 席	小 島 敏 之	出 席	
春 山 教 子	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	山畑学校教育部長	斉藤生涯学習部長	岡戸教育総務課長	栗原学校教育課長
	米川学校給食センター所長	池澤生涯学習課長	赤坂スポーツ振興課長	加藤図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会		1 月定例教育委員会を開会		
日 程 第 1 前 回 会 議 録 の 承 認	岩本委員長	教育委員会の会議は原則公開であるが、人事に関する事件、その他の事件について出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した時は、公開しないことができる。今回の日程で非公開案件はないため、すべて公開するとしてよろしいか。		
		異議なしの声あり		
	岩本委員長	12 月の定例教育委員会の会議録の承認について諮った。		
		異議なしの声あり		
	岩本委員長	12 月の定例教育委員会の会議録は、承認された旨宣した。		
	岩本委員長	報告事項1について、学校教育部長、生涯学習部長より説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2</p> <p>平成27年羽生市教育委員会後援名義の承認等の状況について（7月～12月分）</p>	<p>岩本委員長</p>	<p>マ及び地域のウォーキングマップを作成した。郷土資料館でもふるさと歴史散歩を開催している。提案については、文化財のほとんどが個人所有となっており所有者によっては公開を望まない方もおり、また、地域によって公開できる文化財の数も異なっている。それらを考慮してコース選定を十分検討する必要がある。併せて地域の特色も盛り込んでいく等研究に取り組んでいくと答弁した。</p> <p>報告事項2について、教育総務課長より説明を求めた。</p>
	<p>教育総務課長</p>	<p>後援名義の使用については、教育総務課1件、学校教育課4件、生涯学習課9件、スポーツ振興課6件の申請があり、いずれも承認した。共催名義の使用、協賛名義の使用、推薦名義の使用についての申請は無かった。教育長賞の交付については、教育総務課2件、生涯学習課2件、スポーツ振興課1件の申請があり、すべて承認した。</p>
<p>報告事項3</p> <p>小・中学校における2学期の表彰の結果について</p>	<p>岩本委員長</p>	<p>報告事項3から7について、学校教育課長より説明を求めた。</p>
	<p>学校教育課長</p>	<p>羽生北小学校では、埼玉県芸術文化祭ふれあい短歌において準賞に6年生、大賞に1年生、第59回 J A 共済小・中学校書道コンクールでは特賞・FMNACK 5 賞及び農林水産大臣賞に4年生の児童が選ばれた。</p> <p>新郷第一小学校では埼玉県防犯ポスターコンクールにて最優秀賞を6年生が受賞、新郷第二小学校では、トラック児童絵画作品コンクールにて国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局長賞を2年生が受賞した。岩瀬小学校では、全国 J O C ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会の10歳以下女子200mフリーリレーにて5年生が第2位に入賞、全国少年</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 平成27年度羽生市教育研究大会の開催について</p> <p>報告事項5 平成27年度児童生徒「新体力テスト」平均値について</p>	<p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>少女レスリング選手権大会の28kg級にて5年生が第3位に入賞した。</p> <p>川俣小学校では県民の日記念絵画コンクールにて3年生が県知事賞を受賞、平成27年薬物乱用防止啓発ポスターコンクールにて6年生が埼玉県薬剤師会長賞を受賞した。</p> <p>三田ヶ谷小学校では、平成27年度県民の日記念絵画コンクールにて1年生が知事賞を受賞、羽生南小学校ではロボットSAITAMA2015にて5年生がさいたまっち賞を受賞した。</p> <p>西中学校では献血推進ポスターコンクールにて2年生が埼玉県保健医療部長賞を受賞、埼玉県中学校体育連盟バレーボール専門部にて3年生が優秀選手賞を受賞、埼玉県英語弁論大会にて3年生が第4位に入賞、JA共済小中学校書道コンクールにて1年生が埼玉県教育長賞を、2年生が農協福祉事業団賞を受賞した。</p> <p>南中学校では、秋の県新人体育大会の男子走り高飛びで2年生が第2位に入賞、中学校新人体育大会兼県民大会の男子200m平泳ぎにて1年生が第6位に入賞した。</p> <p>東中学校では、北埼玉地区中学校体育大会のソフトテニス男子では2年生のペアがベスト16、卓球女子団体では第5位、陸上400mリレー男子では2年生のチームが第6位に入賞した。また、中学生の「税についての作文」にて1年生が埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞を受賞した。</p> <p>2月18日に産業文化ホールにて開催を予定している。研究発表では、ベストアドバンススクール校の川俣小学校がテレビ会議の授業について発表を行う。また、立正大学教授で臨床心理士でもある村尾泰弘氏を講師に迎え、子どもの発達障がいについて講演会を行う。</p> <p>昨年度と比較し小学校各学年の反復横とびや、中学校1年生の各種目で県平均を上回る結果が出る等、成果が表れてきた。しかし握力、上体起こし、長座体前屈は県平均を下回る学年が多い。これらの結果を踏まえ、子ども達の体力向上を目指し、授業等を進めていきたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項6 平成27年度羽生市小林秀三教育賞受賞者について</p>	学校教育課長	<p>今年度は井泉小学校にて特別道徳教育の推進役として頑張っている教職員、羽生南小学校にて通級指導教室の担当として市内全校の特別支援教育の要として活躍している教職員、東中学校にて野球部を県大会優勝に導き、部活動指導は勿論、学年主任として学校全体をリードしている教職員の3名が受賞している。</p>
<p>報告事項7 平成27年度羽生市小・中学校プレゼンテーションコンクールの結果について</p>	学校教育課長	<p>タブレットPCの導入により、これからの社会ではプレゼンテーション能力の向上が欠かせないという観点から、今年度からスタートした。東部教育事務所の寺井進一郎指導主事を審査員に招き、市長、副市長などにも参加いただいた。各校共すばらしい発表で、充実した大会となった。</p>
<p>報告事項8 平成27年度羽生市学校給食センター給食試食会の結果について</p>	岩本委員長	<p>報告事項8について、学校給食センター所長より説明を求めた。</p>
	給食センター所長	<p>平成27年5月28日から12月17日まで計7回開催した。参加者数は合計131名、前年度比8名増となった。アンケートの結果も「食事はおいしかった」、「量はちょうどよい」、「味付けはちょうどよい」との回答がそれぞれ85%を超え、概ね良い結果を得られた。男性の参加者が約3分の1に増え、多様な意見や感想があった。また、今年4月に小学生になる保護者の参加も多数あり、食に関する関心の高さが伺えた。その他、農政課の仲介により地元の農産物生産者14人の参加があり、自身の提供した農産物を使った給食を食べていただき、より一層の理解と協力体制を得る事ができた。今後も地域・家庭・学校との連携により食育を推進し、市民の学校給食への理解を深めていくために、内容の充実を図りたい。</p>
	岩本委員長	<p>報告事項9から14について、生涯学習課長より説明を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項9 第32回「彩の国21世紀郷土かるた」羽生市大会の結果について</p>	生涯学習課長	<p>平成27年12月5日に市民プラザの大会議室にて開催した。団体の部で須影小学校が3年連続の優勝、個人の部では井泉小学校の選手が昨年に続き2回目の優勝という結果になった。団体、個人とも優勝、準優勝者は、坂戸で行われる県大会に出場する。</p>
<p>報告事項10 平成27年度「子ども大学はにゅう」の結果について</p>	生涯学習課長	<p>平成27年9月5日から12月19日までの期間で4日間、小学校4年生から6年生を対象に実施した。参加者は28名であった。3日目には手子林の阿部被服株式会社に協力いただき、衣料のまちの歴史を勉強し、工場見学をしたところ、子ども達は最先端の機械の技術に驚いていた。その他の日程では体験型の学習を多くし理科系の講義を導入したことで、子ども達にとって非常に満足の高い結果を得られた。</p>
<p>報告事項11 平成28年羽生市成人式の結果について</p>	生涯学習課長	<p>1月10日に産業文化ホールの大ホールにて開催した。新成人から実行委員として各中学校4人ずつの12名、来年成人を迎える方が準備委員として6名参加し、運営にあたった。新成人の参加人数は650名中472名、参加率72.62%でほぼ例年並みであった。記念行事の抽選の品物は、お米詰め合わせ、アイス詰め合わせ、さいたま水族館の年間パスポートなど羽生市ゆかりの品を実行委員自ら市内業者に直接交渉して用意した。また、中学校ごとの記念写真撮影も好評であった。</p>
<p>報告事項12 家庭教育支援事業「子どもと一緒に家庭をパワフルに！カラフルに！」の開催について</p>	生涯学習課長	<p>2月27日に羽生市女性センターにて開催する。羽生市家庭教育サポートネットキャロットが主催し、講師に柴田朋子氏を招き、「家族の心と体が笑顔になるカラフルランチ」というテーマで講義を行う。食事をしながらお話を聞くという事で、心がなごみ色々な会話に繋がる。クリスマス会も同様に開催し、若いお母さん達に好評だったが、今回もそのような反応を期待したい。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項13 第8回羽生市郷土芸能発表会の開催について</p>	生涯学習課長	<p>2月14日に産業文化ホールの小ホールにて開催する。出演は8団体で、過去最多である。今回は羽生市こども歌舞伎保存会が復活し参加する。司会進行は羽生実業高校放送部に依頼した。広報やホームページ等で周知を図る。</p>
<p>報告事項14 平成27年度羽生市人権教育指導者研修会の結果について</p>	生涯学習課長	<p>平成27年9月5日から12月5日までの期間で計5回の日程で開催した。1回目は「障がい者の人権」として日本ブラインドサッカー協会の佐藤豪氏を講師に招き、視覚障がい者の研修を行ったところ、これが特に好評だった。受講申込者166人中修了者139名、修了割合83.7%と出席率は非常に良かった。アンケートにて95%の方が「わかりやすかった」と回答し、多くの参加者が人権問題に対する理解を深めることができた。</p>
<p>報告事項15 第31回羽生市綱引選手権大会の結果について</p>	スポーツ振興課長	<p>平成27年12月13日に羽生市体育館にて開催した。一般男子、一般女子、小学生の3部門計36チーム392名の参加があった。スポーツ推進委員会を中心に大会運営がなされたが、ファッションに力を入れたチームも目立ち、応援にも力が入り楽しい大会となった。今後も冬場の体力強化にも役立つ綱引きを通じ、より一層のコミュニケーションづくりを推進し、普及につとめたい。</p>
<p>報告事項16 ふるさと講座Ⅱ「郷土の偉人に学ぶ～清水卯三郎～」講演会の結果について</p>	図書館長兼郷土資料館長	<p>報告事項15について、スポーツ振興課長より説明を求めた。</p> <p>報告事項16について、図書館長兼郷土資料館長より説明を求めた。</p> <p>平成27年12月6日にワークヒルズ羽生にて、清水卯三郎を顕彰する会の協力を得て開催した。講師は県職員で作家の今井博昭氏で、清水卯三郎の生涯や人物像について講演を行った。募集人数80名のところ多数の応募があり94名の参加となった。資料の</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項17 その他	岩本委員長	<p>展示や人物パネルも設置し、市外からの参加者にも、清水卯三郎を通じて羽生市を知る機会になったと好評だった。今後もさらに清水卯三郎を多くの方に知っていただけるよう尽力していく。</p> <p>その他の報告事項を求めた。</p>
	生涯学習課長	<p>永明寺古墳県指定記念講演会の結果について報告する。1月17日に産業文化ホールの小ホールにて、元群馬大学教育学部教授の梅澤重昭氏を講師として開催した。「利根川中流域の古墳時代ー永明寺古墳を中心にー」と題した講演で、参加は220名と多数であった。内容は永明寺古墳築造前後の時代の古墳の設計企画や県外の古墳との比較など、実際の土器や石室の石材を用いての説明もあった。今後は古墳の調査・保存・活用について専門家を集めてシンポジウムの開催を検討する。また郷土資料館にて永明寺古墳とその時代と題して展示を行うので、是非ご覧いただきたい。</p>
	岩本委員長	<p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p>
	教育長	<p>プレゼンテーションコンクールについてもう少し説明を願う。</p>
	学校教育部長	<p>小学校の部の最優秀校は須影小学校、中学校の部は西中学校であった。先週行われた北埼玉地区の科学展の発表コンクールでもこの2校が小学校、中学校の部の最優秀校を受賞した。同じ生徒が発表したわけではないが、プレゼンテーションコンクールの効果があったのではないかと考える。</p>
	春山委員	<p>清水卯三郎はプレゼンテーションの先駆者であったと聞いている。このことを大会に絡めて企画しても良いのではないか。第1回目は学校自慢ということだったが、今後のプレゼンテーション能力の向上という観点で、来年からはどのようなテーマで開催することを考えているか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校教育課長	<p>プレゼンテーションコンクールの運営は特別活動主任部会で行っている。今年の反省も踏まえ来年以降は運営面や時期、テーマを考えながら継続的に進めていきたい。清水卯三郎の件もうまく絡めることも視野に入れつつ検討したい。</p>
	教育長	<p>今後、気をつけなければいけないのは、ただの特別活動で終わることなく、子ども達の学力向上という目的を達成することである。プレゼン能力をつけるのはあくまで目的達成のための一つの手段である。</p>
	学校教育部長	<p>世界と比較して日本の子ども達に欠けている能力が思考力・判断力・表現力だと言われており、国が現在の教育に求めている要素である。プレゼンテーションコンクールの評価の観点は、子ども達がこれらの力を身につけることであり、今後の学力向上に繋がる一つの手段と捉えている。須影小や中学校で行われているフューチャースクールでのタブレットP Cの導入も一つの手段であり、様々な方法で子ども達の能力をいかにのばすかが考えられている。</p>
	岩本委員長	<p>プレゼンテーションコンクールには私も審査員として出席した。最初の大会であったが、原野を切り開いて道を作るような、これからの可能性を感じるととても良い内容であった。</p>
	古市委員	<p>市議会でのスタンプラリーの一般質問に関して、対象を文化財だけに限らず様々なものをPRできるよう考えていただきたい。また、市民プラザにある清水卯三郎の像など、駅から歩いて行ける距離にも史跡等が数多くあるので、市民は勿論、羽生市に来る方に向けたPRも視野に入れていくと良いのではないかな。</p>
	生涯学習課長	<p>羽生市には地域の食や地場産品が沢山ある。それを踏まえ文化財や歴史と結び付けながらスタンプラリーに取り入れて、羽生の「町めぐり」としていきたい。</p>
	教育長	<p>教育委員会の視察の際、一ノ関駅を降りた時に大槻三賢人の銅像があり驚いた。知らない人が行っても駅にある事でこの町には</p>

会議事件名	て ん 末	
	古市委員	<p>このような偉人がいると分かる。清水卯三郎の像も市民プラザではなく駅にあっても良いと思う。</p> <p>駅に展示を行い羽生を通過する人にも見てもらうことはできないか、外部にも働きかけて欲しい。</p>
	生涯学習部長	<p>キャラクター推進室や商工観光課等に協力を求めることはできそうである。</p>
	生涯学習課長	<p>清水卯三郎の市民へのPRとして、現在は産業文化ホールにある展示パネルを、次は中央公民館に持っていく予定である。羽生駅自由通路などへの展示も検討してみる。</p>
	古市委員	<p>教育研究大会では、発達障がいへの対応についての講演が良かった。多くの方に聞いてほしい。</p>
	岩本委員長	<p>発達障がいを知ることは、子ども達の個性・才能を生かし、不要なレッテルを貼る事を止めることにつながる。一歩間違えると排除しようとする動きに発展してしまうので、正しい理解が必要である。</p>
	学校教育課長	<p>発達障がいの子どもへの対応には先生達も悩んでいる。正しい知識を持つことで、障がいと認識して指導にあたり、その子の個性に合わせて何がしてあげられるかを考えることができる。このような講演は先生達にとってはとても貴重である。</p>
	柿沼委員	<p>タブレットPCの小・中学校への導入について、現状と今後の進め方はどのように考えているか。</p>
	学校教育課長	<p>村君小学校に7台、須影小学校に21台、岩瀬小学校に41台、各中学校には21台ずつ導入している。現状は理科・社会・体育などの授業でグループごとに1台使用している。来年度以降できるだけ早く全校に導入できるよう進めている。</p>
	柿沼委員	<p>デスクトップPCやノートPCはもはや不要であるか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校教育課長	<p>中学校では技術・家庭科やＰＣ室での調べ授業があるので、ノートＰＣも並行して使用する。対して小学校では今後使わなくなる可能性はある。ディスプレイを取り外しタブレットとして使える機種に交換していく方法等を検討する必要がある。</p>
	教育長	<p>タブレットがデスクトップＰＣと同等の機能を持つようになってきている。小学校ではインターネットの利用が主であり、簡単な機能で十分である。中学校はプログラミングが必要なので、キーボードを備えたＰＣは必要である。今後のタブレットの導入と利便性を考えた場合、校内どこでも使用できるようＬＡＮの整備が必要となる。</p>
	古市委員	<p>給食の試食会について、募集に対して 94%の参加率とのことだが、数だけでなく新一年生の保護者や、食材の農産物生産者の方達の参加があるのは素晴らしいことだと思う。</p>
	教育長	<p>川俣小学校と村君小学校で行われたテレビ会議について報告願う。</p>
	学校教育部長	<p>アドバンススクールにて最優秀校となった川俣小学校の研究テーマである他の学校とのテレビ会議が行われた。それぞれの学校でカメラと電子黒板を使い、川俣小学校 19 人、村君小学校 9 人で合同授業を実施した。両校がテレビを通してお互いの多様な意見を聞く事ができ、少人数のクラスでは効果的である。機器が高額であり、学校ごとに整備環境も違うが、これは授業の内容が大きく変わる画期的な取組である。まだまだ課題もあるが、研究が進めばたとえ小さな学校でも多様な発言や意見を聞くことができ、思考力を高めることが可能である。夢のような授業であった。</p>
	教育長	<p>小さい学校や、離れた学校同士をＩＣＴで繋いで分離型の小中一貫校とすることができる効果的なツールとなっている。</p>
	古市委員	<p>どの教室でもインターネットに繋がり、どこでも調べることができるようになっているのか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校教育部長	<p>前述の小学校 3 校はできるようになっている。予算の関係はあるが、将来は全校に導入したい。また、テレビ会議は外国の学校ともでき、グローバルタウンの岩瀬小学校、南中学校を中心に外国の学校との交流をしている。外国の学校は討論を求めるため、両校ともチャレンジしている。今後導入が進めば市内の学校同士、テレビ会議で討論したりできる。さらに英語で討論できればグローバルな人材の育成につながる。</p>
	岩本委員長	<p>かつて青年会議所で個人の機材を利用してテレビ会議をしていた。当時は先駆的な試みだったが、現在は学生達も英語の勉強にインターネットを使い、外国にいる人など距離に関係なく、様々な用途でコミュニケーションをとっている。ビジネスの世界でも同様である。是非先進的なことにチャレンジして頂きたい。</p>
	春山委員	<p>家庭教育の低下については 4、5 年前から指摘されており、現在は崩壊しているとも言われ、かなり深刻な状況であるため、支援も重要になってくる。しかし、家庭教育支援事業のような講演会に参加するのは意識の高い親であり、深刻な状況の人達は来ない。親の意識にかなりの差があり、今後は新しい形で家庭教育を支援できるよう全国で模索している。幸い羽生市では地域の協力もあり、これからも支援していきたい。</p>
	古市委員	<p>キャロット主催のイベントには去年参加したが、今回も食と組み合わせた事業とのことで素晴らしいと思う。食べているときは体も脳もハッピーになり、笑顔になる。そのような状態で聞いた話は腑に落ちて自分のものになる。苦勞の多い事業とは思いますが今後も続けていただきたい。</p>
	岩本委員長	<p>このサロンに来ていただけない家族にどう関わるかが課題と考える。未就学など、状態がひどくなると児童相談所の介入があるが、その前段階では制度的に関わりが空白になる。そこにどう関わるかは社会が抱える大きな問題である。行政組織が直接というよりも、NPO等の団体が地域と共に取組み、行政が支えたり応援したりする図式が良いと思う。多方面で支え、進めていくことが大事であると考えている。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>協議事項1</p> <p>羽生市就学援助費支給要綱及び羽生市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱（案）</p>	生涯学習課長	<p>NPOを法人化して支援するなど、多方面での活動が展開できるよう、各組織団体の登録申請など進めている。今後は行政では出来ない活動を担っていただけることを期待している。</p>
	教育長	<p>来て欲しい人が来ないのは、経済的な理由や関心の無さによるものである。そういう状況であるからこそ、今地域で学校を支え、その動きに各家庭も巻き込んでいく。それがコミュニティースクールの原点である。来年度川俣小学校で実施していく試みだが、本当に地域と一体となったコミュニティースクールを作っていきたい。</p>
	柿沼委員	<p>成人式は市外に出て行った若者が羽生市に戻ってくるきっかけのひとつである。渡す資料も羽生市の魅力をアピールするものがあれば良いのではないか。記念品も独自のもので、例えば羽生市の歯科指導は日本一だから、清水卯三郎とコラボした歯ブラシなど。是非検討いただきたい。</p>
	生涯学習課長	<p>来年の成人式がより良くなるよう検討したい。</p>
	岩本委員長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	岩本委員長	<p>協議事項1について、教育総務課長より説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>行政手続きにおける特定個人を識別するための番号の利用に関する法律、いわゆる「マイナンバー法」が施行された。マイナンバーの利用範囲については税関係、社会保障関係、災害対応の3種に限定されており、その内社会保障の一貫として教育総務課で所管している就学援助費の支給及び特別支援教育就学奨励費の支給について、マイナンバーを使用して支給認定作業を行うことになるため、その根拠となる要綱を改正するものである。改正内容は、受給申請書様式にマイナンバーを記載する欄を追加するほか、文言の修正等を行う。</p>

